

■柳田泉 日本近代文学研究家。翻訳家として出発、＜関東大震災＞に衝撃を受け、明治文学を研究し画期的業績。

やなぎだいずみ

日清戦争始・1894＝ 青森県中津軽郡豊田村外崎字村元(弘前市)で六男に生まれる。

日比谷公園・1903＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝11歳：

東奥義塾，

青森中学校を経て，

明治天皇没・1912＝18歳：

第一次大戦始1914＝20歳：早稲田大学文学科高等予科入学。

本格政党内閣1918＝24歳：英文学科卒業。大隈重信主宰の大日本文明協会に入社したが，

ベルサイユ条約・1919＝25歳：退社する一方，

原敬首相暗殺1921＝27歳： 春秋社の「トルストイ全集」に訳者として参加，内田魯庵・木村毅と相識り，

さらに同社の「カーライル全集」の個人訳に従うが，

関東大震災・1923＝29歳：＜関東大震災＞の被害に衝撃をうけ，明治文学の本格的研究を志す。

護憲三派圧勝1924＝30歳：*吉野作造主宰の明治文化研究会もまた発足し，宮武外骨・石井研堂・尾佐竹猛らと相識り，またこのころから三宅雪嶺・幸田露伴の知遇を得る。

治安維持法・1925＝31歳：「明治文化全集」の企画に参加。

海軍軍縮条約1930＝36歳：

満州事変・・1931＝37歳：

五一五事件・1932＝38歳： 明治文学会に係わり(顧問)，明治文学談話会の世話役を果たした。

芥川直木賞始1935＝41歳：早稲田の教壇に立つ。「明治初期の翻訳文学」。「明治文学叢刊」(松柏館書店)の刊行を開始。その中心「政治小説研究(上・中巻)」，

二二六事件・1936＝42歳：「随筆明治文学」，

日中戦争始・1937＝43歳：

第二次大戦始1939＝45歳：*同下巻刊行，徹底的な博搜にもとづく精到な研究として，今日なお他の追隨を許さぬ達成を示す。

日米開戦・・1941＝47歳：

・・・・・1942＝48歳：「幸田露伴」，以後，「叢刊」の刊行は戦争によって阻まれるが，

敗戦・・・・1945＝51歳：＜敗戦後＞あらためて，

「明治文学研究」全11巻として再編成され(春秋社)，

極東裁判決・1948＝54歳：

独立回復・・1951＝57歳：

なべ底不況・1957＝63歳：「田山花袋の文学」，

安保闘争・・1960＝66歳：*明治文学研究第1巻「若き坪内逍遙」，

タイタイ病始・1961＝67歳： 明治文学研究第5巻「明治初期翻訳文学の研究」，

TV宇宙中継始1963＝69歳：「明治の書物・明治の人」，

大学紛争始・1965＝71歳： 明治文学研究第4,6巻「明治初期の文学思想」。早稲田を停年退職後も，

いざなぎ景気1966＝72歳： 明治文学研究第2巻「小説神髓研究」，

著述に専念，最後まで第一線の研究者としての生涯を送り，

震ヶ関どろ・1968＝76歳： 明治文学研究第8,9,10巻「政治小説研究」，

全共闘・・・1969＝75歳：*明治文学研究第3,11巻は未刊のまま，肺炎にて，没した。第7巻は没後刊行。

「柳田泉の文学遺産第1巻」，平凡社百科事典，